

審判申し合わせ事項

2024年11月10日
練馬区空手道連盟

形競技

1. 競技方法

- ① トーナメント方式で旗判定にて行う（点数制は一般団体形、小学5・6年女子のみ）
- ② 斜め入場。礼は演武前後のみとする。主審の短笛で開始。コート外で判定。判定の合図および宣告は主審が行う。演武開始前・終了時の礼が無い場合 幼児から小学生は反則とせず主審が礼を促す。
- ③ 準決勝まで赤・青同時演武とし、決勝戦は一人ずつ演武。（点数制は一人ずつ演武）
- ④ 各回戦で演武されている形の確認は記録係と協力してコート主任が行う。形を変えなければならない時は、コート主任が選手に必ず伝える。選手からの質問で、形の選定に関しては他の審判員・係員は答えないこと。
- ⑤ 選手同士が接近したことにより停止した場合などは、減点対象とはしない。
- ⑥ 反則事案が生じた場合は主審が副審を集める。主審が気づかない場合は副審が合図する。

2. 形の指定内容

区分	クラス	予選ラウンド	決勝ラウンド
団体	一般（18歳以上） 小学生	自由 同一形を続けてよい。	
個人	一般男子有段者	全空連指定形（第1・第2） 同一形を続けてよい	自由 ※但し 予選ラウンド使用以外の形 繰り返し不可
	一般女子	基本形（流派のバリエーションを認める）、 全空連指定形（第1・第2） 同一形を続けてよい	自由 ※但し 予選ラウンド使用以外の形 同一形を続けてよい
	シニア男子 シニア女子 一般男子有級 中学生男子 中学生女子 小学1～6男子 小学5・6女子 小学3・4女子 小学1・2女子	基本形（流派のバリエーションを認める） 同一形を続けてよい	
	幼児	基本形（流派のバリエーションを認める） 同一形を続けてよい	

※予選ラウンドとは表彰対象以前の段階をいう（太線が引いてある）詳細はプログラム参照

審判申し合わせ事項

2024年11月10日
練馬区空手道連盟

組手競技

副審2名制で実施（資料は別紙のとおり）

- 1 試合時間（すべての試合） 幼児～中学生、一般有級、シニア男女 1分30秒フルタイム 4P差
少年男子、一般有段、女子、一般団体戦 2分フルタイム 4P差
- 2 団体戦 一般男子は勝敗が決したら終了する。ただし小学生は全試合行う。
- 3 リーグ戦 小学5・6年女子、少年男子、一般男子団体において実施（判定で勝敗を決め引分け無）
- 3 拳サポーター 赤・青のJKF・WKF認定品とする 小学生以下はリバーシブルか赤青グローブ
- 4 セーフティカップ 小学生3年生以上は空手着の中に着用する。小学生2年生以下は任意。
- 5 胴プロテクター 小学生1・2年・幼児は外でも可
- 6 10セコンドルール 採用しない
- 7 インステップ・シンガード 任意とする 但しJKF・WKF認定品とする
- 8 メンホー NO. V以降の物を使用する
- 9 投げ技は禁止とする。ルールに則った技でも投げたらC1を科す